

高山市における 地域・郷土と 教育に関する現状

○峯村恒平（目白大学人間学部）
西山里利（目白大学人間学部）
藤谷 哲（目白大学人間学部）

◆ はじめに

- 高山市における子育て環境の現状と課題を明らかにするために、
小学5年生および中学2年生を対象としたアンケート調査を、
2018年に受託研究として実施した。
- 本報告では、昨今の教育政策、高山市の進める教育政策等を踏まえつつ、主に小学5年生および中学2年生を対象としたアンケート調査の結果から、高山市における地域・郷土教育に関する現状について報告する。

◆ アジェンダ

- 「地域活動」への子どもの参加状況
- 「高山市が好きな理由」と子どもの認識と変化
- 高山市における「地域学習」

◆ アンケートの目的

- 高山市に住んでいる子どもが、地域活動にどの程度参加しているか、アンケート結果から明らかにする。
- 高山市に住んでいる子どもが、高山市に対してどのようなイメージを抱いているか、アンケート結果から明らかにする。

◆ 調査の概要

- 調査期間： 2018年9月中旬～10月末日
- 対象者： 高山市内の全小学校 5年生 800人
高山市内の全中学校 2年生 790人
- 実施方法： 高山市から高山市教育委員会を通じて、各校に協力依頼。紙による質問紙調査として実施。

◆ 倫理的配慮

- 以下を調査票冒頭に明記。
 - 研究・調査の趣旨・目的
 - 調査方法
 - 答えなくてよい質問は答えなくてよいこと
 - 回答を拒否しても不利益がないこと
 - 無記名であること
 - 「おうちの人や先生に見られることはない」こと

◆ 回収状況

- 回収状況（有効回答率）
 - 小学校5年生 773件（96.6%）
 - 中学校2年生 741件（93.8%）

◆ 結果Ⅰ：地域活動への参加状況

■ 小学校5年生

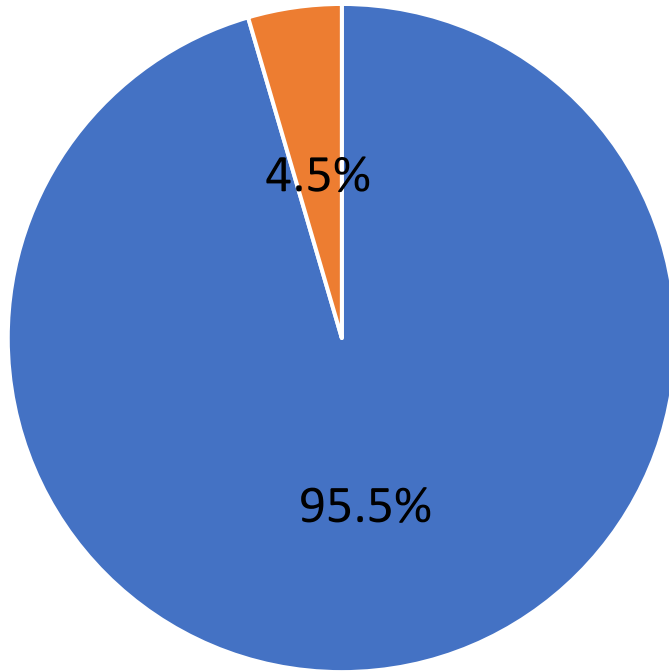


図1 何らかの地域活動に参加している人の割合

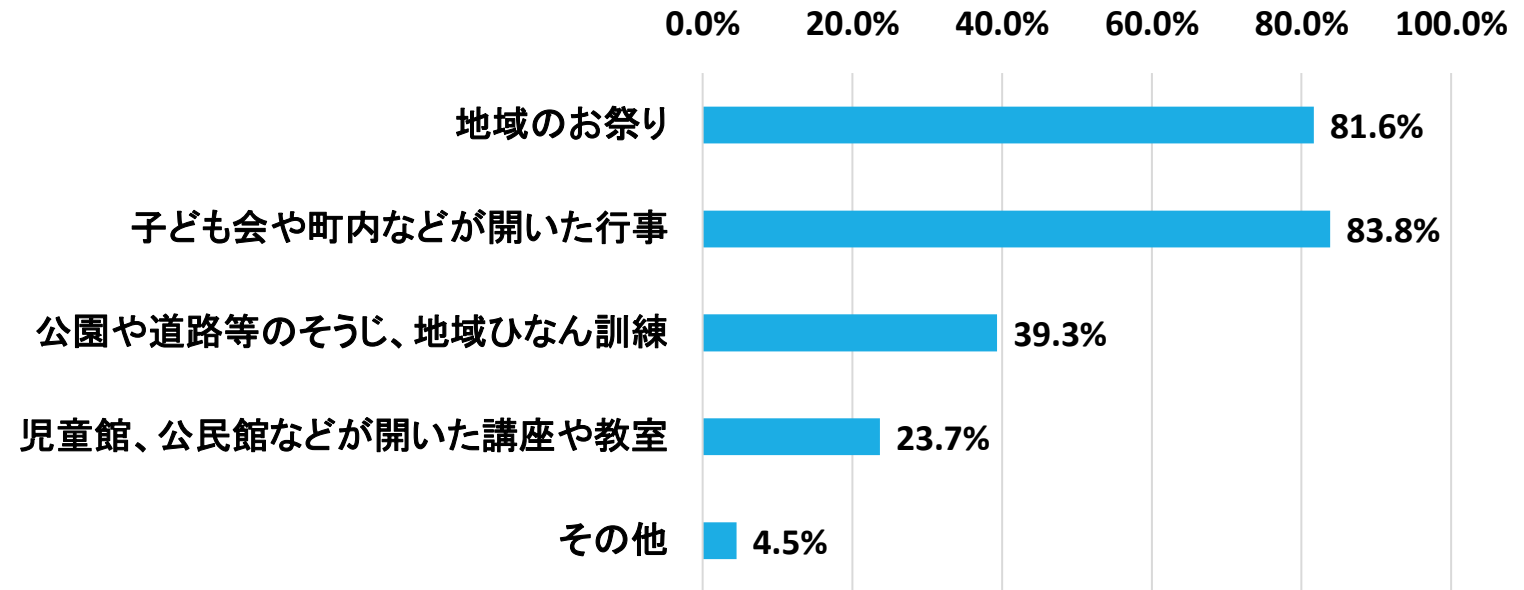


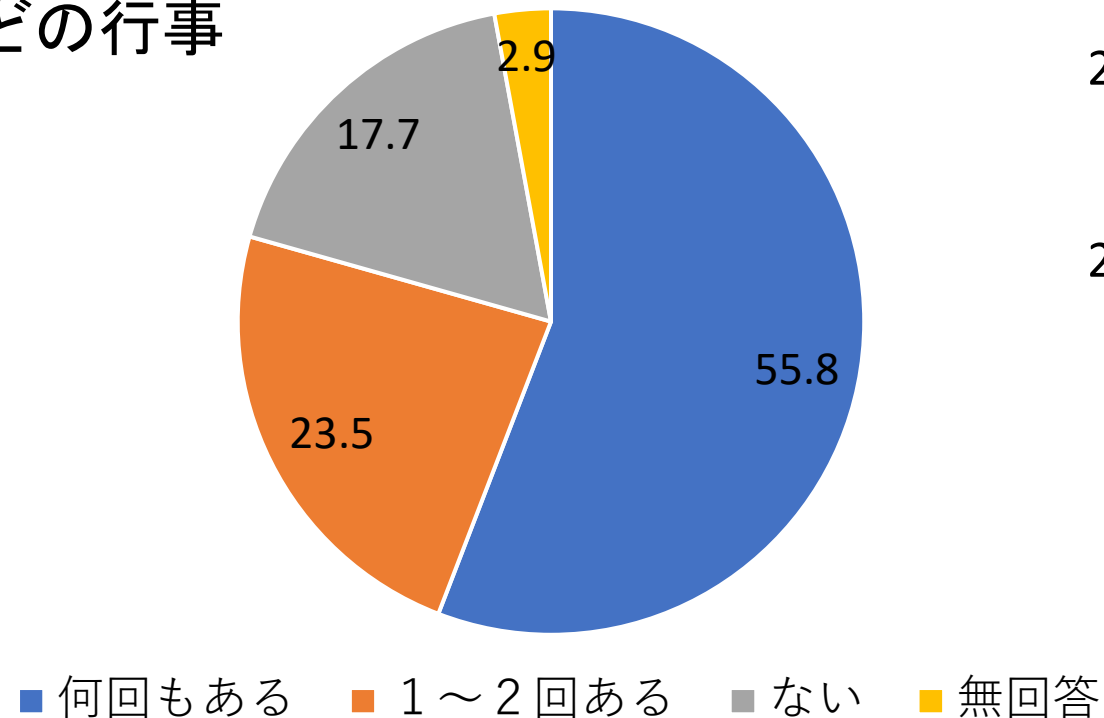
図2 地域活動への参加の状況

◆（参考：内閣府調査から）

■ H22年 小学生3184人

「過去2～3年に地域の活動に何回くらい参加したことがありますか」

● お祭りやお盆などの行事



2018高山（先ほどのスライド）
お祭り：81.6%

2010全国
お祭り：55.8+23.5＝79.3%

◆ 結果Ⅰ：地域活動への参加状況

■ 中学校2年生

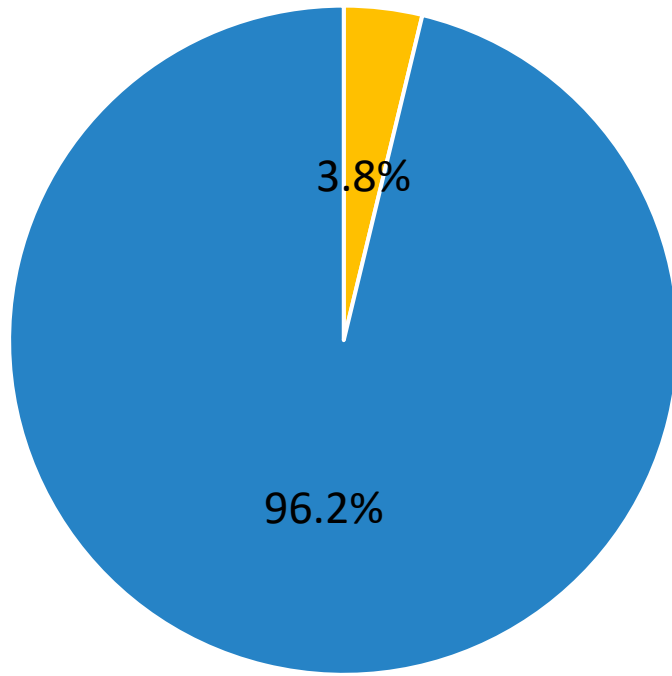


図3 何らかの地域活動に参加している人の割合

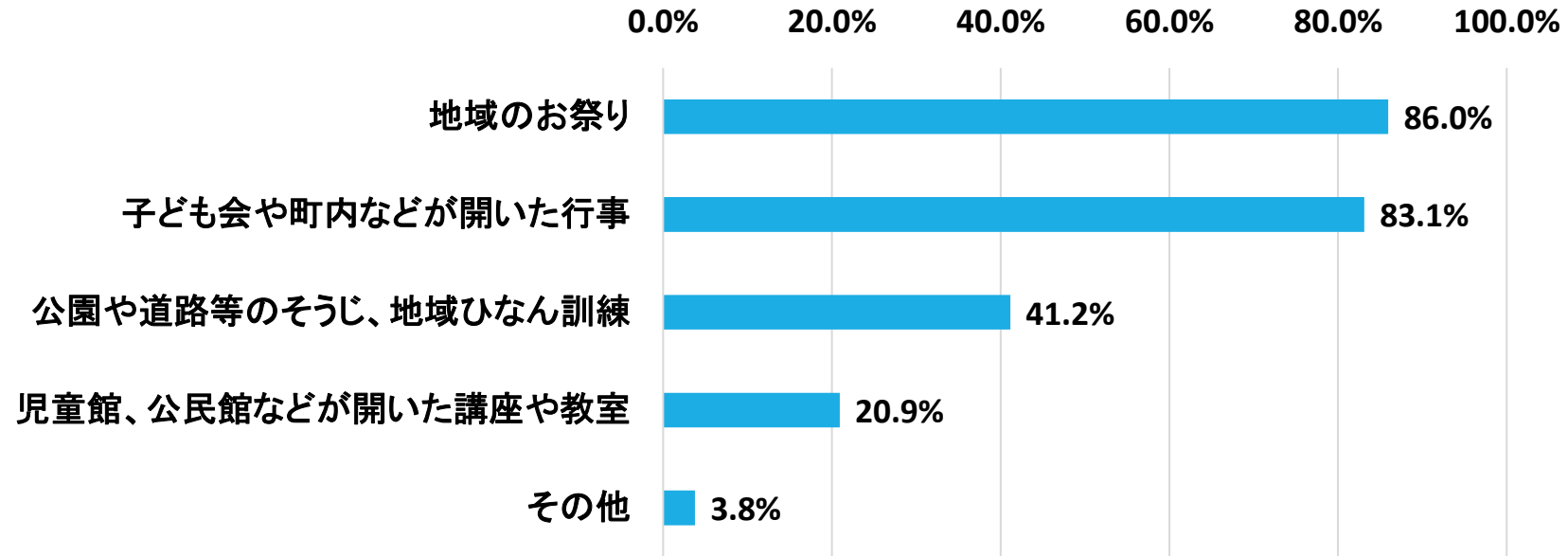


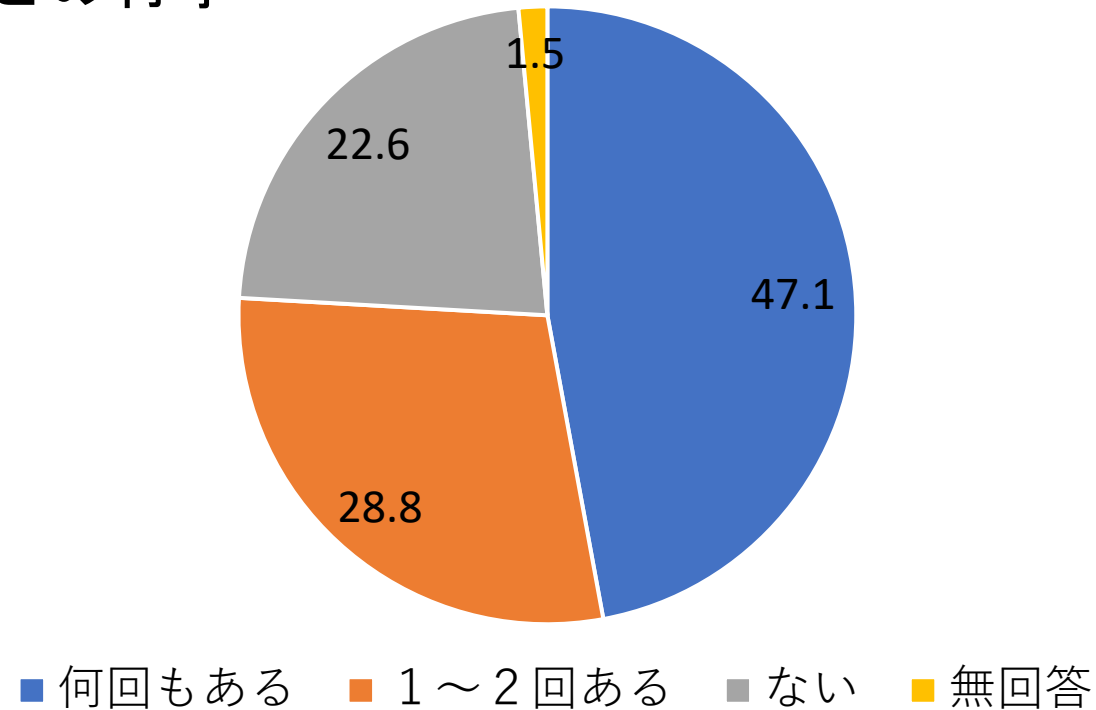
図4 地域活動への参加の状況

◆（参考：内閣府調査から）

■ H22年 中学生2909人

「過去2～3年に地域の活動に何回くらい参加したことがありますか」

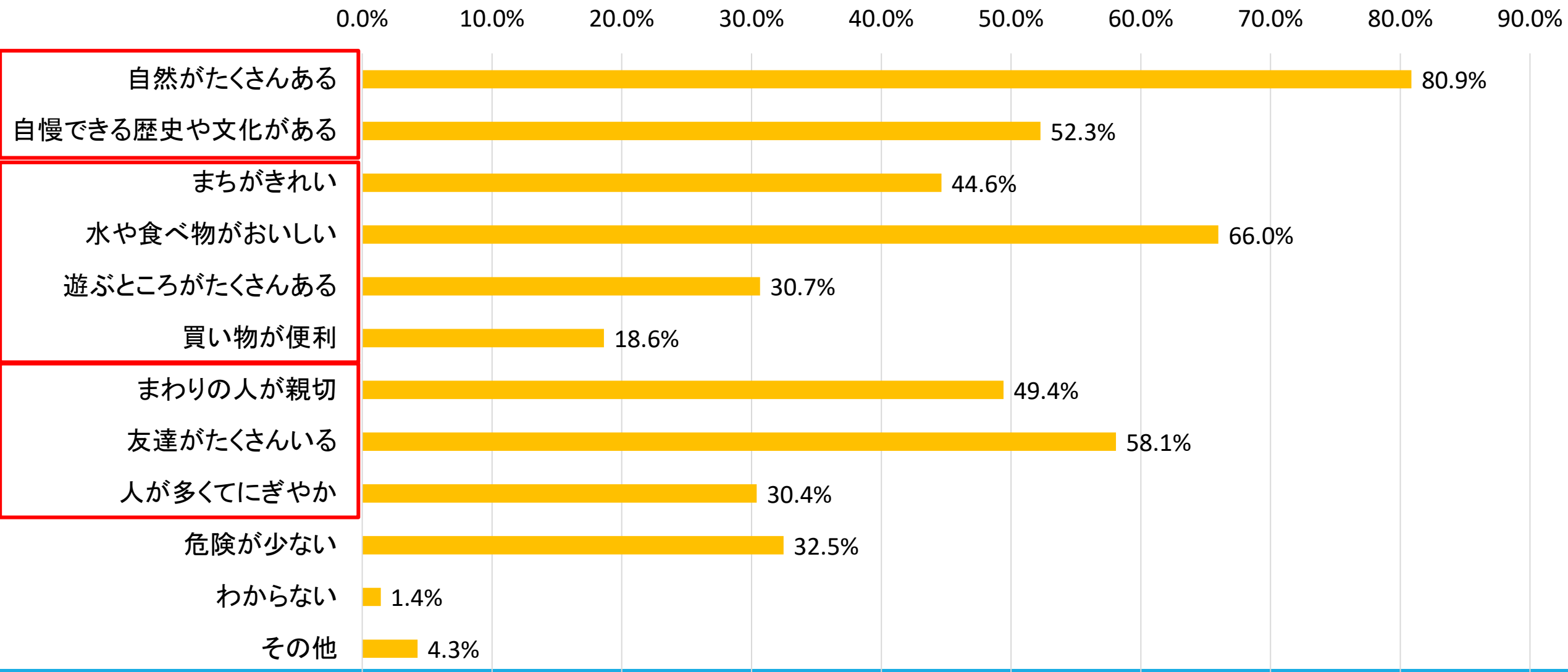
● お祭りやお盆などの行事



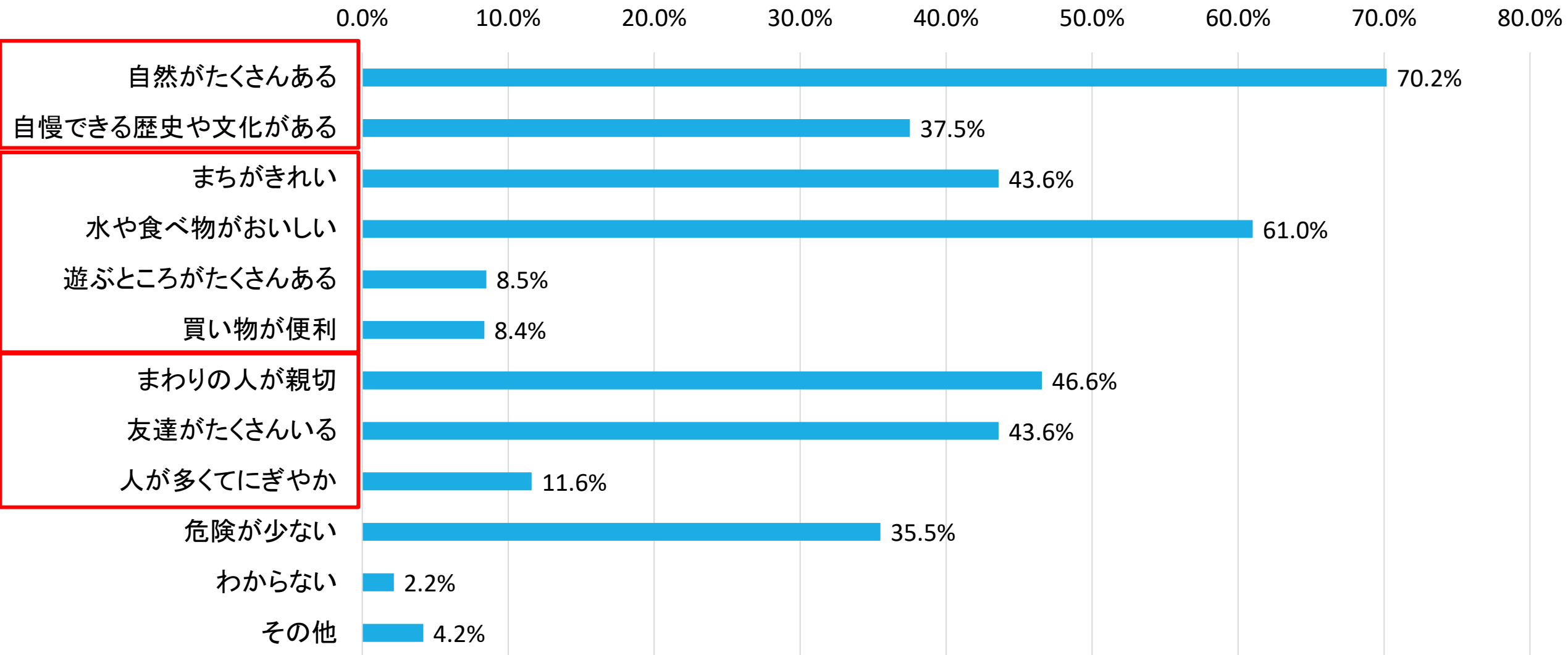
2018高山（先ほどのスライド）
お祭り：86.0%

2010全国
お祭り：47.1+28.8＝75.9%

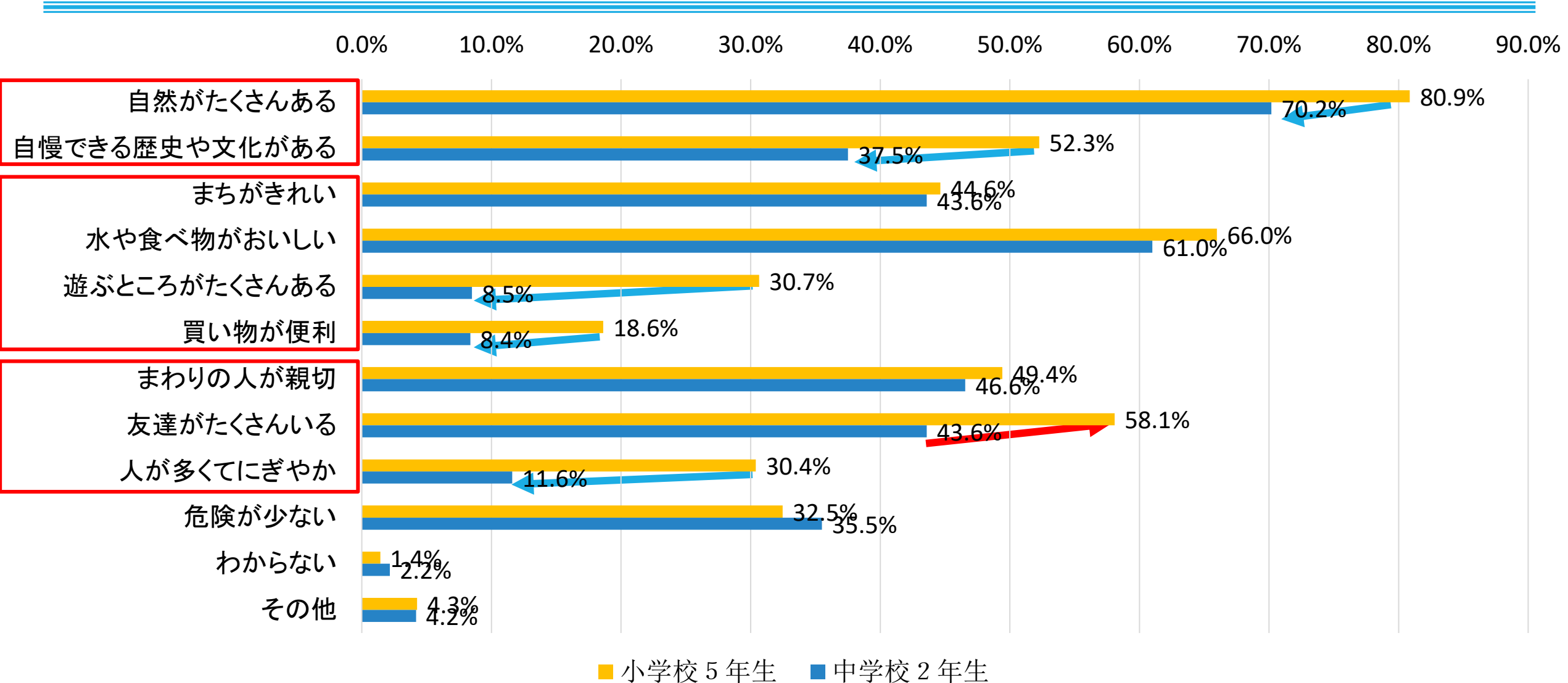
◆ 結果2:高山市が好きな理由(小学校5年生)



◆ 結果2: 高山市が好きな理由 (中学校2年生)



◆ 結果2: 高山市が好きな理由



◆ 考察①

■ 地域活動への参加状況

- 小学校：何らかの行事に参加している人は95%を超える。
- 小学校：お祭りや町内の行事への参加は81%を超える。
- 小学校：お祭りに限るとH22全国調査より若干高い。
- 中学校：何らかの行事に参加している人は96%を超える。
- 中学校：お祭りや町内の行事への参加は83%を超える。
- 中学校：お祭りに限るとH22全国調査より10%ほど高い。

◆ 考察②

■ 高山市が好きな理由

- 小学校:割合が高いのは、「自然」80%、「水や食べ物」66%
- 中学校:割合が高いのは、「自然」70%、「水や食べ物」61%
- 小学校と中学校を比較すると…
 - 多くの項目で割合が下がる
 - 「友達がたくさんいる」の割合は14.5%あがる。

◆ 高山市の教育振興基本計画と「地域」

■ 2020年度からの「第3期教育振興基本計画」(高山市)

- 1 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育みます
- 2 学びの場の充実とその成果を活かすことができる環境を整えます
- 3 スポーツに親しみ、心身ともに健やかに暮らせる環境づくりをすすめます
- 4 歴史遺産と伝統文化が暮らしに息づく「飛騨高山」を守り伝えます
- 5 日々の暮らしのなかに文化芸術を息づかせます

◆ 高山市の教育振興基本計画と「地域」

■ 2020年度からの「第3期教育振興基本計画」(高山市)

■ Ⅰ 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育みます

■ 基本施策3 地域全体の協働による郷土教育の推進

■ (1) 地域に開かれた学校づくり

■ (2) 特色ある学校経営の推進

■ (3) 地域、高等教育機関、企業等との連携による教育の推進

◆ 過去の取り組み例

- H23年度:文部科学省研究受託(高山市)
 - 「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」
 - 学校区における郷土教育の資源発掘
 - 郷土教育資源の教材化
 - 学校における「郷土教育全体計画」

◆ 今後の展望

■ 今後の展望

- 小学校段階で地域のお祭りや地域行事に参加する割合の増加
- 中学校段階でも「自然や文化」が好きという割合の増加
- 新しい学習指導要領、高山市の教育振興基本計画も踏まえつつ、既に充実している高山市独自の教育施策を活用しつつ、学校における郷土教育を地域と連携してさらに進めながら、現状も高い割合をさらに高くしていけるか、推移が注目される。

◆ 引用文献 (抄録で引用しているものを含む)

- 文部科学省(2017)「小学校学習指導要領」.
- 中央教育審議会(2015)「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)」.
- 厚生労働省(2020)「令和元年度国民健康・栄養調査報告」.
- 内閣府(2007)「国民生活選好度調査」.
- 岐阜大学(2012)「学校と地域の総合的な活性化」調査研究報告書.
- 内閣府(2012)「非行原因に関する総合的調査研究報告書」.